



長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

2022年

10/15^土~11/27^日

長崎歴史文化博物館
3F企画展示室 開館時間:8:30~18:00(最終入館17:30)
※10月17日(月)、11月7日(月)、11月21日(月)休館

観覧料: 大人800円(団体・前売600円) 高校生以下無料
前売券販売所: チケットぴあ(Pコード:993-914)、ローソンチケット(Lコード:81669)、セブンチケット(セブンコード:097-696)、
CNプレイガイド、S 東美プレイガイド、紀伊國屋書店長崎店(夢彩都)、メトロ書店本店(アミュープラザ長崎)

主 催: 「長崎の黄檗展」実行委員会(長崎県、長崎市、長崎歴史文化博物館)
共 催: 長崎新聞社、KTNテレビ長崎
後 援: 中華人民共和国駐長崎総領事館、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、
長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、西日本新聞社、朝日新聞社、
毎日新聞社、読売新聞西部本社、共同通信社長崎支局、NHK長崎放送局、
長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、長崎商工会議所、長崎観光タレント協会、
長崎県観光連盟、長崎国際観光コンベンション協会



全壁画《十六羅漢図巻》(部分) 福清寺蔵 喜多道矩画《隠元騎獅像》(部分) 当館収蔵



関連講演会

ハガキ・FAX・インターネットで要事前申込み(先着順) ※定員になり次第受付終了
【ホール】定員70名 【講座室】定員15名

10月15日(土)
10:30~12:00【講座室】
「長崎の黄檗展」をより楽しむ

講 師: 長岡枝里(当館研究員)

10月22日(土)
14:00~15:30【ホール】
唐寺の仏像
講 師: 楠井隆志氏(福岡県人づくり・県民生活
部文化振興課 新県立美術館建設室参事)

10月29日(土)
14:00~15:30【ホール】
長崎の「お絵像さま」と黄檗肖像画
講 師: 錦織亮介氏(元福岡市美術館長)

インターネット申込み

※応募フォームはGoogleフォームを使用しています。



トークショー

ハガキ・FAX・インターネットで要事前申込み(先着順) ※定員になり次第受付終了【ホール】定員70名

11月5日(土) 14:00~15:00
「長崎の黄檗— 隠元をめぐる人々と長崎の町」

登 壇: 澤田瞳子氏(小説家・第165回直木三十五賞受賞) 聞き手: 長岡枝里

澤田瞳子

(さわだ・とうこ)
1977年京都府生まれ。同志社大学文学部卒業、同大学博士課程前期課程修了。
2010年『孤鷹の天』でデビューし、同作で中山義秀文学賞受賞。
2012年『満つる月の如し 仏師・定朝』で本屋が選ぶ時代小説大賞受賞。同作で2013年新田次郎賞受賞。2016年『若冲』で歴史時代作家クラブ賞作品賞、親鸞賞受賞。2020年『駆け入りの寺』で舟橋聖一文学賞受賞。2020年『オール讀物』12月号にて隠元の来航をめぐる長崎の街を舞台とした短編小説「わらわ鬼」を発表。以降、現在までに同誌にて隠元と彼を取り巻く人々を題材とした短編小説「緋の魚」「笹鳴り」「月草」などを発表している。2021年『星落ちて、なお』で直木賞受賞。

インターネット申込み

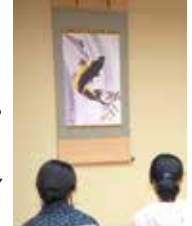
※応募フォームはGoogleフォームを使用しています。



関連イベント

おはなしツアー以外は全て随時受付(事前申込み不要) 会場/ 1階エントランス(予定)

「かけじく」をさわってみよう
11月3日(木・祝)14:00~17:00
参加費: 無料 対象: 小学生以上



掛け軸のかざり方や正しい方を体験してみましよう

プラバン根付作り
11月6日(日) 14:00~17:00
参加費: 200円 対象: どなたでも
イラストをなぞって、かわいい根付(ストラップ)を作ります



月イチワークショップ
「しろくろバッジ」
11月11日(金) 15:30~18:30
参加費: 100円 対象: どなたでも

「墨」を使っておしゃれな缶バッジを作りましよう



てんじつのおはなしツアー
お〜ばく編 ※要事前申し込み

11月13日(日)
①14:00~②16:00~
参加費: 無料(時間内に限りチケット不要)
対 象: 幼児~高校生、保護者の方
気軽にお話しながら展示室をめぐります

インターネット申込み

※応募フォームはGoogleフォームを使用しています。



韋駄天像
清時代カ 福清寺蔵

特集展示 唐寺の名宝

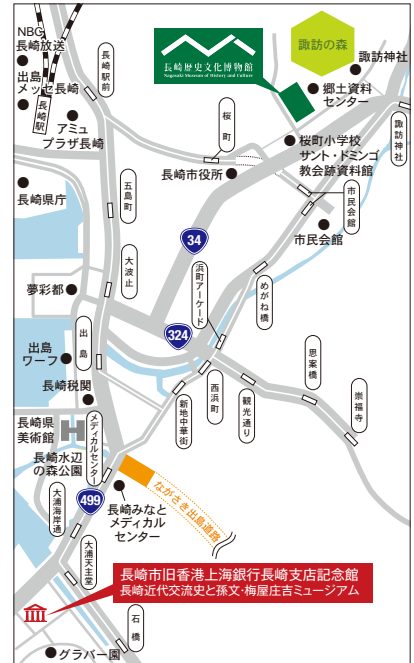
「長崎の黄檗」展開催に先立ち、これまでほとんど調査の手が入っていなかった興福寺・福濟寺・聖福寺の書画、仏像類の調査を行いました。大正時代以来、およそ100年ぶりとなる大規模調査の結果、各寺院に多くの貴重な資料が所蔵されていることが明らかとなっています。その内容は実に個性豊かであり「黄檗」という枠にとどまらない不思議な魅力にあふれています。本展では「長崎の黄檗」展には入りきらなかった唐寺関係の資料をご紹介します。企画展とあわせて、長崎がほこる唐寺の名宝をお楽しみください。

会 期 2022年10月19日(水)~12月18日(日)
時 間 8:30~19:00 12/1からは~18:00(最終入館はいずれも30分前)
会 場 2階特集展示室(歴史文化展示ゾーン内)
観覧料 常設展観覧料でご覧いただけます。
大人630円、小中高生310円 ※県内小中学生は無料
企画展「長崎の黄檗」とセットで1,000円(大人)

長崎歴史文化博物館

<http://www.nmhc.jp/>

〒850-0007 長崎県長崎市立山1-1-1 TEL:095-818-8366 FAX:095-818-8407



長崎の黄檗は隠元さん だけじゃない

隠元渡来前夜

唐寺を筆頭に、現在まで長崎の町には中国文化の影響が色濃くのこっています。その礎を築いた長崎へ移住した中国人たちは唐寺の創建や隠元の招請にも深く関わっています。



謝重燕筆 魏之琰行樂図
康熙 23 年（1684）
個人蔵



開祖林公琰一官像
江戸時代
当館収蔵



徐敬雲像
江戸時代
個人蔵

隠元禪師の渡来

承応 3 年（1654）7 月 4 日に隠元が長崎へ到着します。長崎の町が隠元をどう迎えたのでしょうか。



後期
展示



禅統真紹筆
黄檗開山国師来朝到岸之図
江戸時代
法田寺蔵

楊道真画・慧門如沛賛
隠元騎獅像
明暦 3 年（1657）画
萬福寺蔵

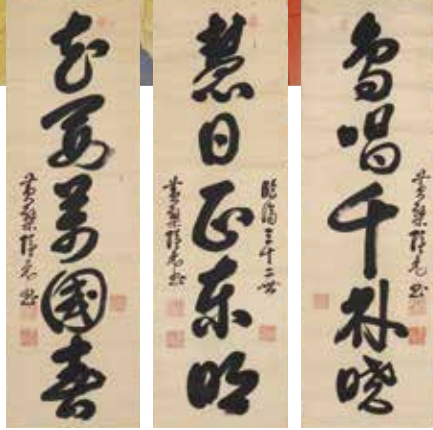
長崎に現在も息づく 黄檗文化

近年の大規模な調査によって唐寺には黄檗僧や中国に関する資料が多数のこされていることが分かりました。これまで知られていた代表的な書画はもちろん、今回見出された初公開資料も多数紹介します。



長崎市指定文化財

赤星宗徹作 一の瀬無縁塔
金銅阿彌陀如来像・釈迦如来像、観音菩薩像
江戸時代 今博多町蔵



長崎市指定文化財

隠元隆琦筆 黄檗開祖国師三幅対
江戸時代 興福寺蔵

日本と中国は二千年以上の長き交流の歴史を有します。日本は時代ごとに中国から先進の技術や知識を取り入れ、様々な面で多くの影響を受けてきました。この長きにわたる日中交流の中でも、承応三年（一六五四）の隠元隆琦（一五九二〜一六七三）の来日はとりわけ大きな意味を持っています。臨済宗黄檗派の高僧である隠元の渡来は、日本へ新たな禅風を伝えただけでなく、明末清初の中国の文化をもたらしました。本展では今年で 350 年大遠諱を迎えられた隠元隆琦禅師の来日を起点としてその事蹟を辿りながら、江戸時代の日本に多大な影響を与えた黄檗文化の源流をひもときます。

長崎市内の黄檗寺院である興福寺・崇福寺・福濟寺・聖福寺、いわゆる「唐寺」には、隠元とその高弟である木庵・即非ら渡来黄檗僧たちゆかりの書画をはじめ、現在にいたる長崎と中国の交流の様子を物語る資料が多数のこされていることが、近年の調査によって明らかとなりました。今回は唐寺の寺宝を中心に「長崎ならではの黄檗文化」についても紹介します。

隠元禅師が

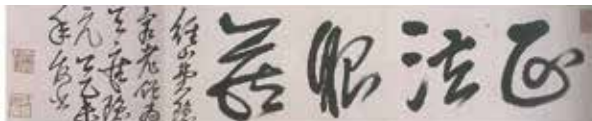
もたらしたもの

隠元は弟子と仏師や画家といった職人ら三十名ともに長崎へ渡来しました。黄檗山萬福寺には隠元が中国からたずさえてきた様々な品がのこされています。

喜多元規画・獨湛性瑩賛
隠元隆琦像（部分）
（興福寺三師像のうち）
江戸時代
興福寺蔵



隠元所用 紫泥大茶罐
明時代
萬福寺蔵



費隠通容筆 源流
与隠元隆琦
崇禎 10 年（1637）萬福寺



逸然性融画・即非如一賛
白衣大士觀瀑図
江戸時代
当館収蔵



蘭溪若芝筆 石燈籠図
貞享 2 年（1685）
個人蔵



初公開 祖師源流画像 江戸時代 興福寺蔵



初公開 西方極樂世界阿彌陀仏安養道場図巻 中国・清時代 福濟寺蔵